

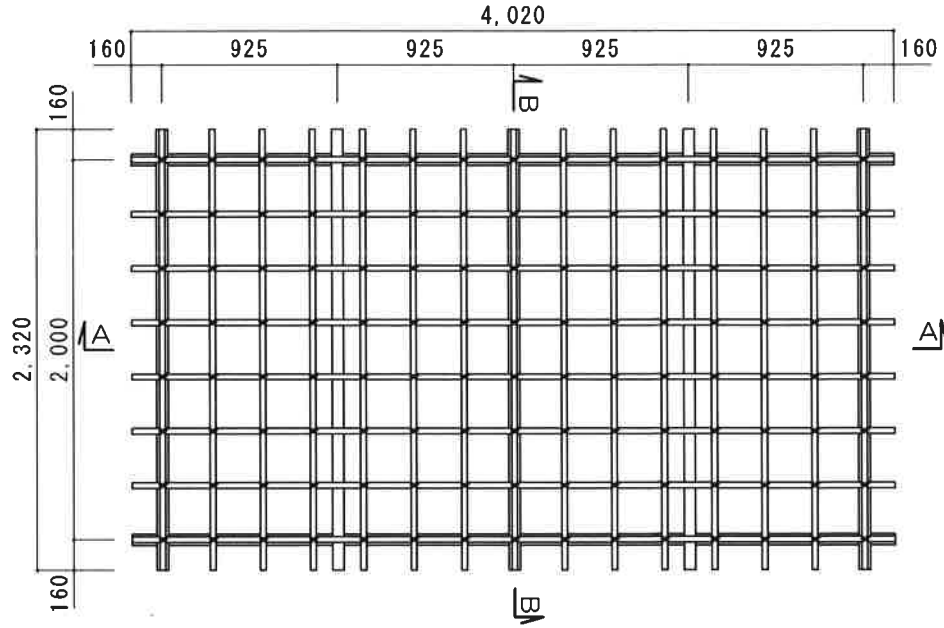
竹垣セット38型 施工マニュアル 部材表

藤棚

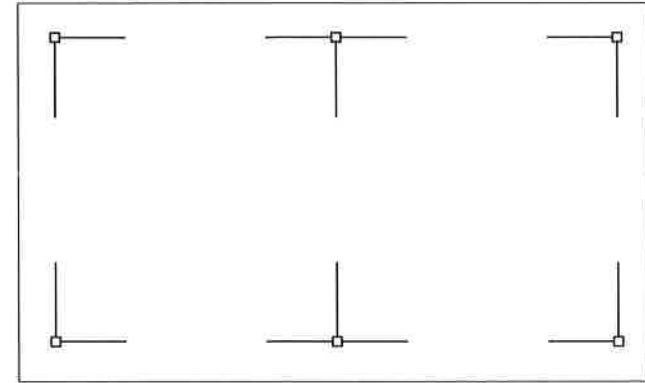
支柱・桁・梁			
支柱 (柱・桁)  60角	支柱キャップ  Bタイプ	サンロク角 (梁)  Bタイプ	支柱キャップ  Bタイプ

補強・天端				
チャンネル22 (方杖) 	胴縁22 (方杖) 	ポールアルミ芯入 30φ 	ポール 30φ 	ポールキャップ 30φ 
ステンナベビス 4×16mm  筋交用 ブロンズ・イエロー・ブラック	ステンナベビス 4×50mm  ブロンズ	ステンナベビス 4×50mm  イエロー・青竹・煤竹・ブラック	ポリ縄  3mm×35m・2kg玉(350m)	

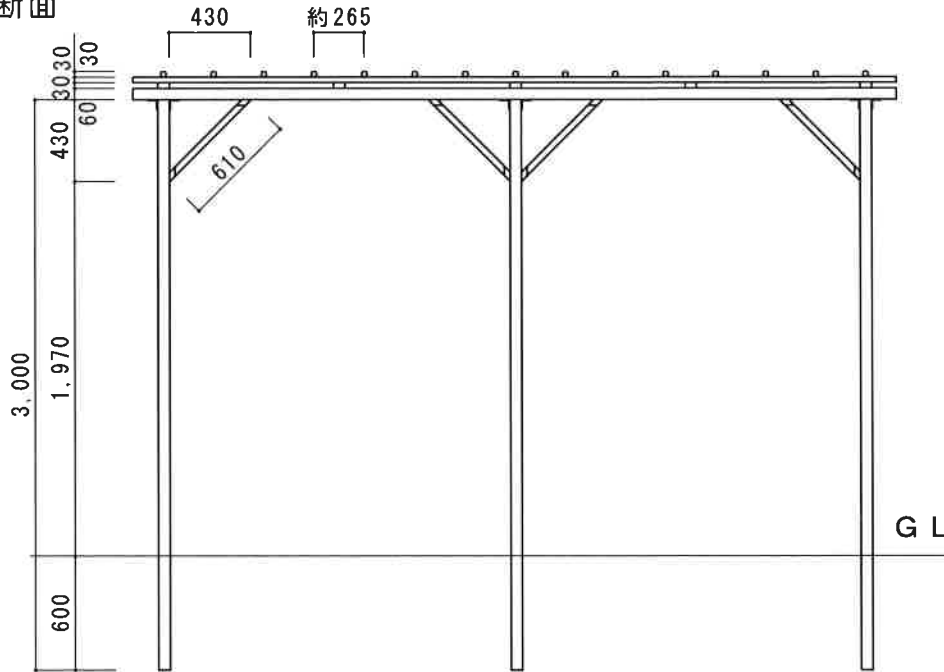
一般的な藤棚の施工部材になります。



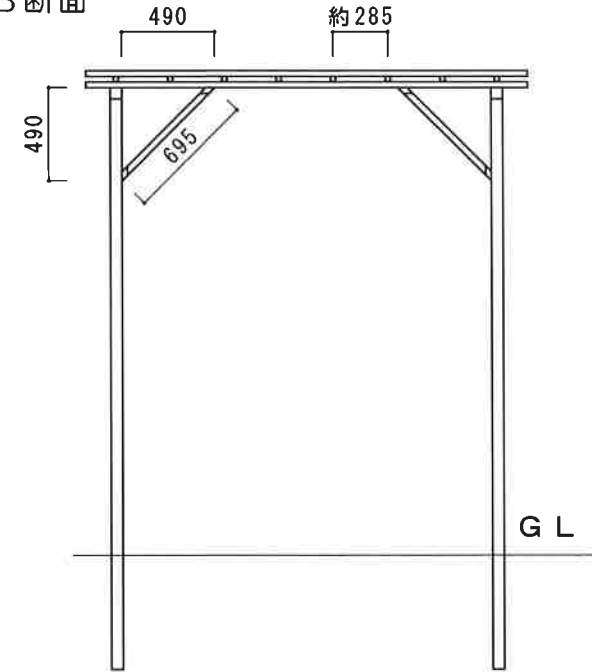
筋交配置図



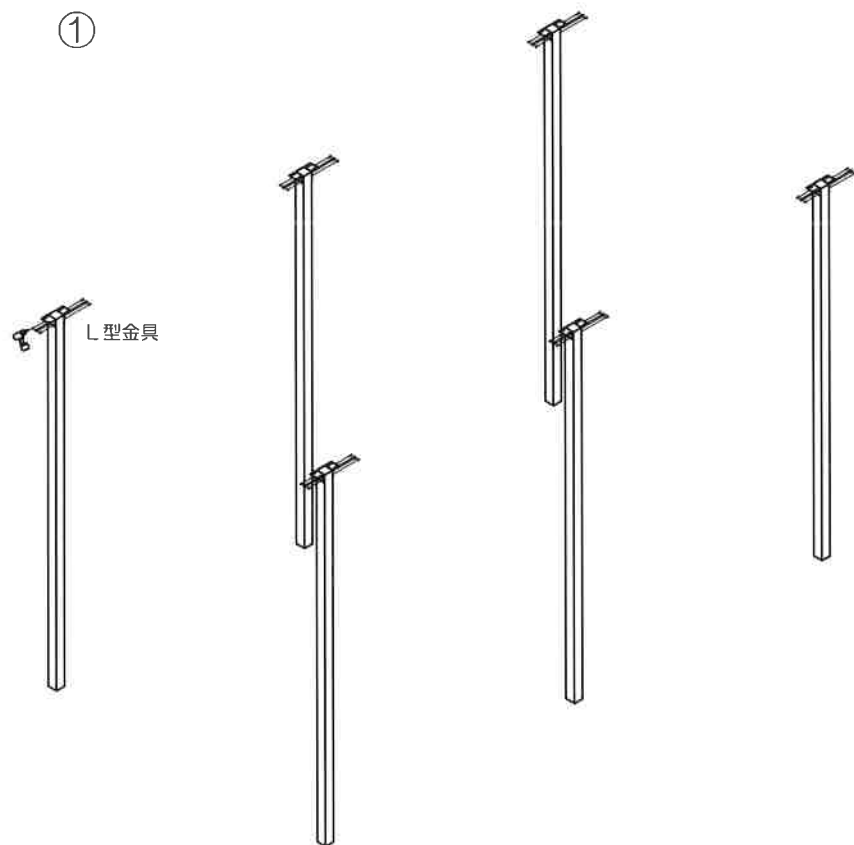
A-A断面



B-B断面



①



① 支柱の先端にL型金具を付属ビス（サラビス4×16）で取り付けます。

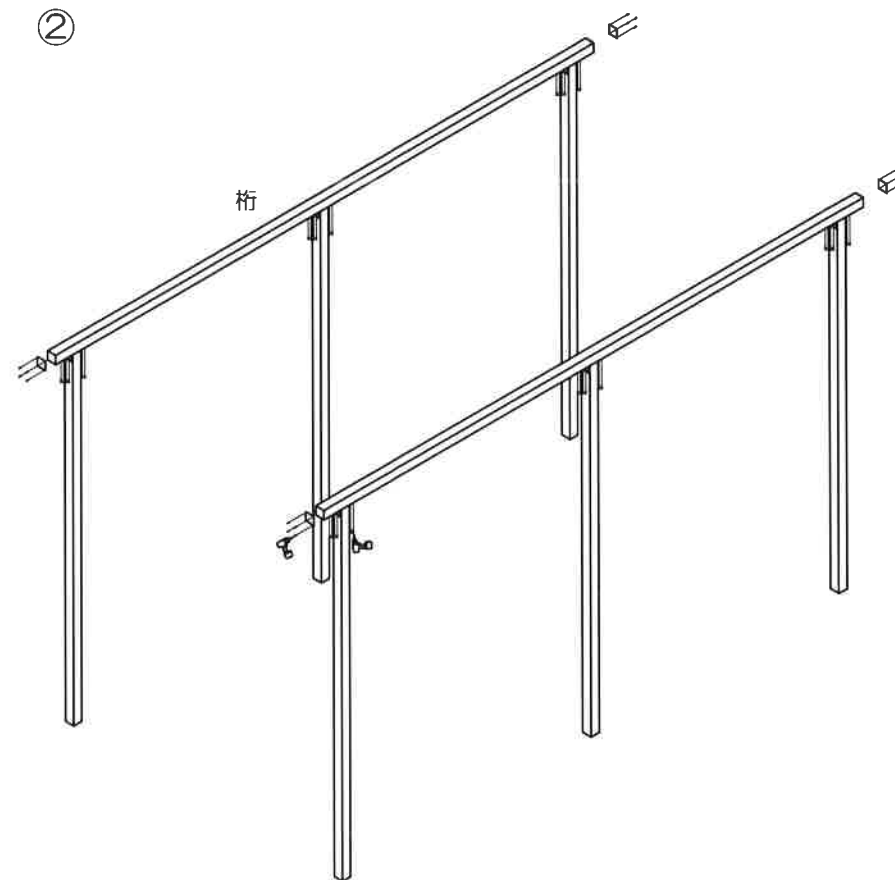
支柱を垂直に立てます。その際、全ての支柱が平行になるようにし仮設置します。



全ての工程が完了し、水平・垂直の確認後、支柱の埋設を行って下さい。

注) サラビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径 (3, 2mm)

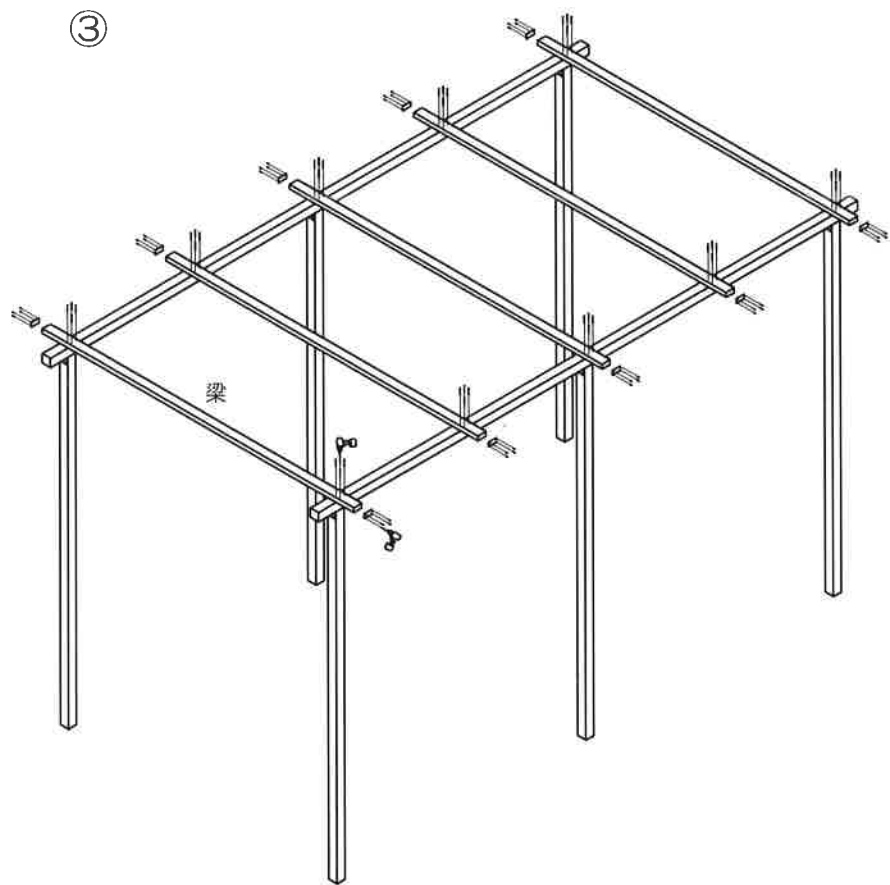
②



② 桁の両サイドにキャップを取り付けます。

支柱に取り付けたL型金具に桁を付属ビス（サラビス4×16）で取り付けます。

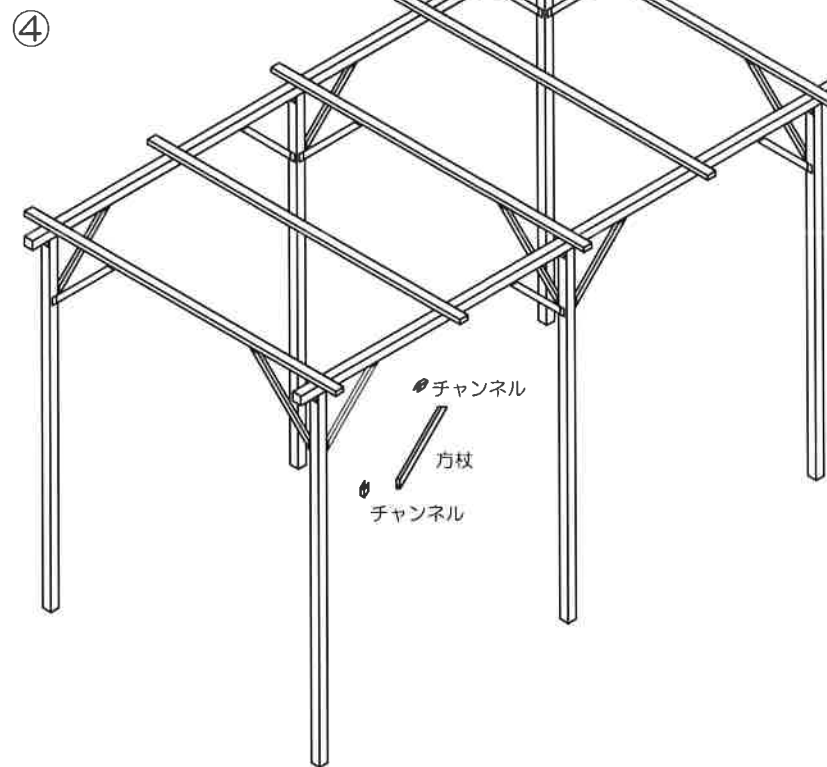
注) サラビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径 (3, 2mm)



③ 梁の両サイドにキャップを取り付けます。

桁の上に梁をのせナベビス4×50で取り付けます。
1ヶ所に付き 4本使用
取り付け位置は、図番1/5を参考にしてください。

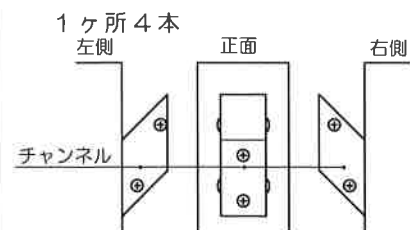
注) ナベビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径(3.2mm)



④ 支柱・桁・梁にチャンネルをナベビス4×16で取り付けます。
取り付け位置は、図番1/5を参考にしてください。

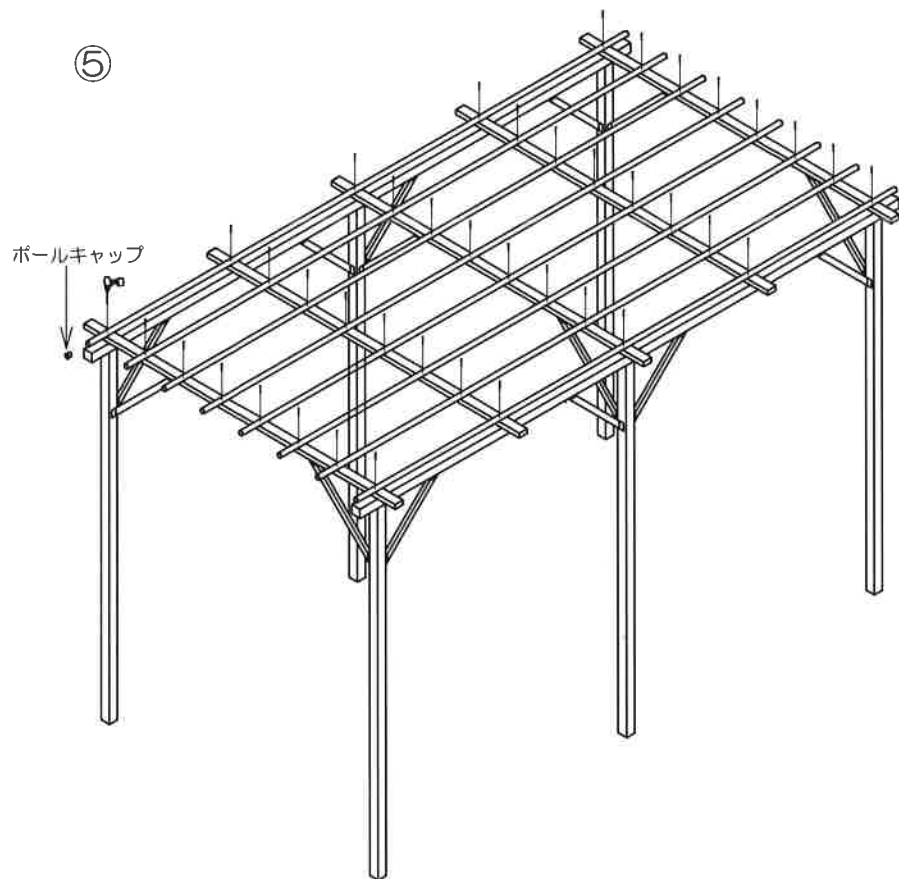
取り付けたチャンネルに方杖をナベビス4×16で取り付けます

ナベビス4×16取り付け位置



ナベビスは、表裏対角線上に止めてください。

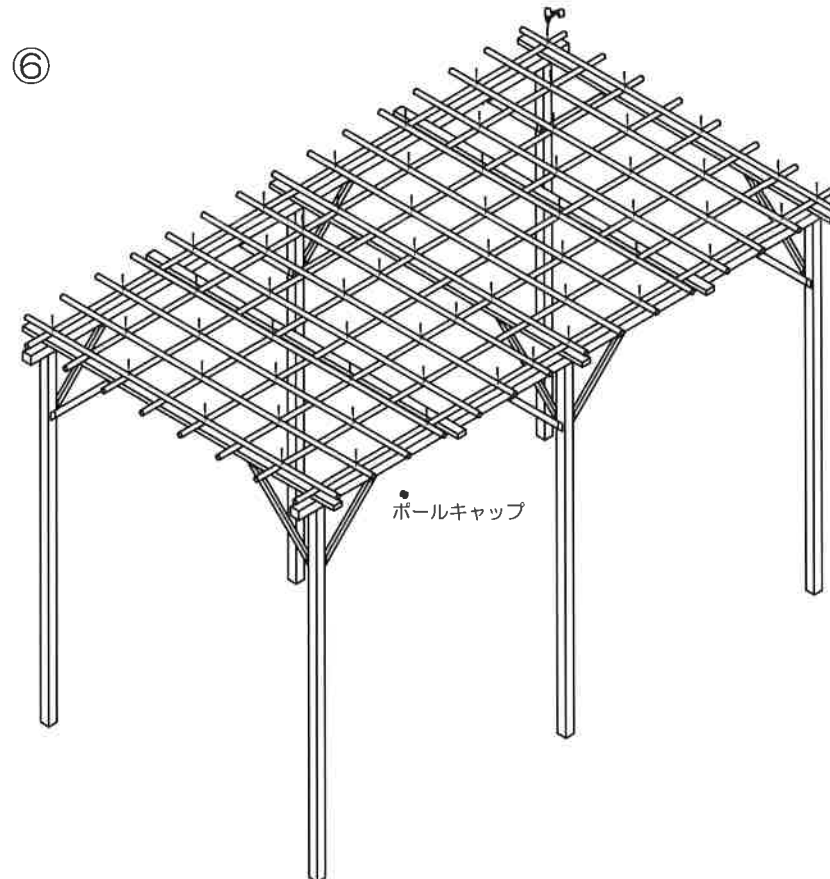
注) ナベビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径(3.2mm)



⑤ ポールアルミ芯入30φの両サイドにキャップを接着剤など取り付けます。

梁にポールアルミ芯入30φをナベビス4×50で取り付けます。
取り付け位置は、図番1/5を参考にしてください。

注) ナベビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径(3.2mm)

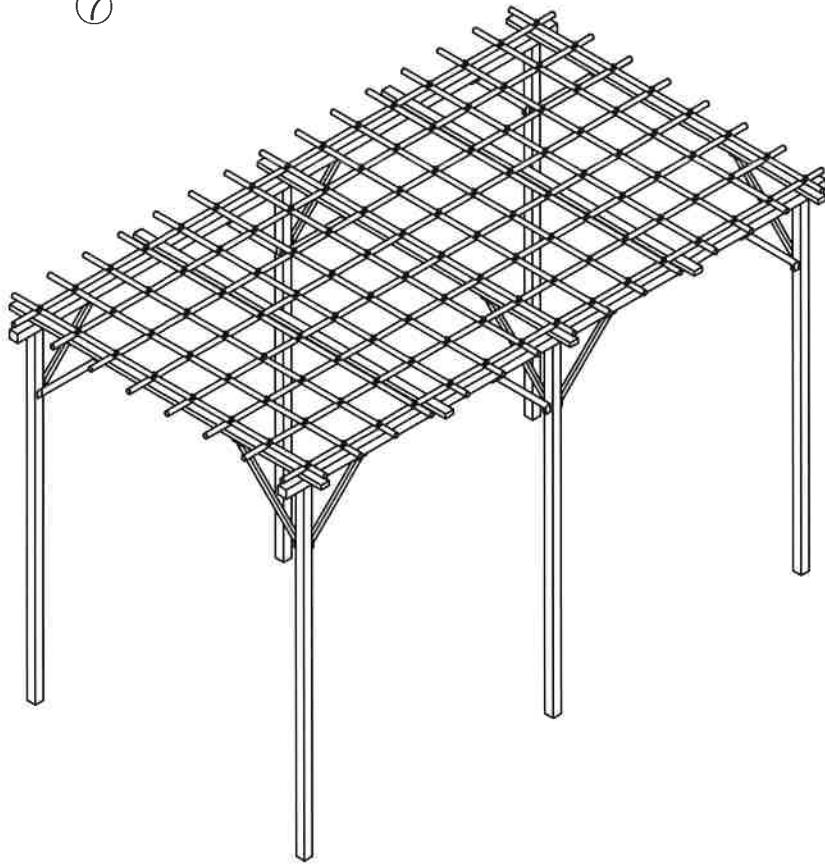


⑥ ポール30φの両サイドにキャップを接着剤など取り付けます。

ポールアルミ芯入30φにポール30φをナベビス4×50で取り付けます。
取り付け位置は、図番1/5を参考にしてください。

注) ナベビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径(3.2mm)

⑦



⑦ ポールアルミ芯入30φとポール30φの交差する箇所全て
ポリ縄で結束します。